

『家族が不幸になる！』言いながらも、簡単げにお金払いんさるな！

◎不安をあおる勧誘に要注意！地域包括支援センターの『気づき』が被害を救済！

- 地元の公民館で『易断』が開催され、悩んでいたのが鑑定をしてもらったが、「このままでは子どもや孫が不幸になる。祈祷が必要。」と言われ40万円支払った。大金なので返して欲しい、という相談がありました。これは、**地域包括支援センター**が、「**給食サービスのお金がない**」と言う**高齢者の一言**から、生活に問題が発生していることに**気づき**、被害を発見し、相談に繋がったケースです。
- 高額な祈祷料については、過去に業務停止命令や祈祷料の返金を命じた判例があります。詳細は『処方箋第40号』をご覧ください。

◎ご協力ありがとうございます！

- 70歳代の夫婦から、**電気代が安くなる**と言われて太陽光発電システムの設置を勧誘され200万円の契約をしたが、本当に安くなるか不安。との相談がありました。この事例は、支払いのために訪れた金融機関の**窓口で不安そうな様子**の夫婦に、**金融機関の職員**がセンターを紹介してくれました。
- **自然エネルギー**が注目される中、太陽光発電システムの設置に絡む相談があります。補助金や売電料で設置費用がまかなえるとは限りません。メンテナンスのことも考え、**複数業者から見積もり**を取ることが鉄則です。

◎社債や外貨の購入などしつこく勧誘する劇場型詐欺が後を絶ちません。

7月には**8件の投資関連相談**のうち、**2件 230万円の被害**がありました。1件は「**ミャンマーのチャット紙幣を高値で買い戻す**（200万円）」1件は「**プラスチックリサイクルへの投資**（30万円）」でした。いずれも支払いから時間が経っており、相手業者と**連絡が取れず救済不能**です。

◎7月には、但馬全体で153件の相談・問合せが寄せられました。

（4～7月までの累計 603件）

◎7月の救済額は 27件、約797万円でした。

内訳	被害防止	11件	769,340円
	交渉	16件	7,201,638円

高齢者を狙った契約トラブルが相変わらず多いです。

小さな変化にも『**気づき**』が大切です。家族や地域で見守りましょう。



ホットちゃん